

2月の「つどい」のご案内

【とき】2023年2月20日(月) 13:30~15:30

【ところ】東区役所 3階 第1・2会議室 電話 741-2400

札幌市東区北11条東7丁目 1-1

【最寄り駅】東豊線「東区役所前駅」下車4番出口 徒歩2分

※問い合わせ: 家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

※出欠の予定をお知らせ頂けると助かります。よろしくお願いします。

(コロナの感染状況などにより開催を変更する場合がございます。ご協力ください)

ちょこっと学習会は
「高齢者の住まい」に
ついて考えます



今年初の「つどい」は、1月19日(木)かでの2・7で13名の参加をいただき開催しました。

始めに2020年放映の「NHK スペシャルー認知症の第一人者が認知症になった」を見ました。

認知症の診断基準「長谷川式簡易知能評価スケール」を開発され、「痴呆」から「認知症」への名称変更の立役者、またデイサービスを提唱されるなど認知症の研究に取り組まれた長谷川和夫先生。自ら認知症であることを公表し、ご自身の不確かな心模様や率直な思いをいっぱい語られ、その中にたくさんのメッセージが込められていたように思いました。その後感じたことも含め、これまでのこと、また抱えている課題について話し合いました。以下、大まかにまとめご報告します。

◆80代夫はグループホームで生活(80代妻)

少し前に夫と私は札幌のサ高住に入居。その後、夫は排泄の失敗が続き、私も圧迫骨折で夫の介護が難しく、グループホームの入所を決めました。グループホームはコロナのせいもあり、面会できません。どんな状態にいるのかわからず、不安がっぱいです。入所させて良かったのか?いろいろ考えてしまいます。グループホーム入所に際して、身の回りの物を自費で準備しなければならず費用がかさみ驚きました。今後の生活についてしっかりと考えなければと思っています。同じ思いの方のお話聞きたいです。

◇入所施設は多種多様、違いがたくさんあります。要介護度3以上は「特別養護老人ホーム」の入所申し込みも可能です。各所比較しながら、希望が叶う施設を見つけることができるよう一緒に相談していきましょう。

◆80代実母が認知症に (50代息子)

在宅で父と母は二人暮らしです。私は同じ札幌に住んでいるものの、母の面倒は父が見てくれています。母は長谷川先生と同じ嗜銀顆粒性認知症と診断されましたが、症状は違い言語が理解できない等で、父は苦労しています。私が何か言うと、「お前は何もわかっていない」と非難され、悲しくなります。父の思いもわかるのですが、どう受け止めればよいか迷います。

◇お父様はとても苦労されていると思います。まずお父様の話をじっくり聞き、思いの共感・共有が大事です。同じところに立つと、心がつながり同じ方向を向き考えることができると思います。

◆硬膜下血腫による認知症本人(70代)です

今、自分の認知症の程度がどのくらいなのか、低下の程度がわからないでいます。一応この病気は治るといわれていますが、どこまで戻ってきたのかわからないのです。場違いなことを発言しているのではないかと話し出すと話が長くなってしまいます。これも症状の一つでしょうか。地域の老人クラブの役員をしており、認知症の啓発活動はとても大事だと思うので続けています。

◆近所の知人が認知症?を見守中(70代男性)

近くに住む知人に毎日のように電話をかけて様子を聞いています。昨日のことを聞くと忘れていきます。私は認知症の親・兄を介護していたことがあり、何か役に立てればと思うのでいろいろな機関に相談しますが、話はたらい回しにされています。しっかりした相談先は無いものでしょうか?困っている家族はたくさんあります。

◇医療・介護・福祉の連携が取れた相談場所が欲しいと切実に感じます。(同意見多数)

3月のつどいは西区民センターで
3月20日(月)に開催